

FINE ART

SCAN

ファインアートスキャン



2021デジタルアーカイブ
産業賞 技術賞 受賞

アートをよりリアルに、高精細に。



OrthoScan-IMAGER (オルソスキャナ)

自社製品を使うからこそできる、
こだわりのデジタルアーカイブ。

非接触

解像度最大 1000ppi

A0 サイズ以上対応

■ 拡大を楽しむ。美術館のお宝を
■ デジタルビューアーに。

非接触で、かつ最大 1000ppi もの光学解像度で撮影することにより目には見えない高精細画像を得ることができます。

■ 文化財の保存、研究の
■ デジタルアーカイブに。

オルソスキャナは寸法精度 10000:1 を実現しました。画像に保存される解像度情報がそのまま定規がわりになります。生成されるオルソ画像には凹凸による倍率変動が生じないため、正確な寸法情報と色情報を記録するのに最適です。

■ 高精細レプリカ製作に。

まるでルーペで見るとような高精細な画像を生成します。250%拡大の大型ポスターや高精細なレプリカ作成など、今までにない幅広い使い方が可能です。

01 円形を 円形に撮る。



円形を真上から撮影した時、中心投影のカメラを採用している一般のイメージスキャナは少しの凹凸があると寸法に歪みが生じます。デジタルカメラで少し斜めから

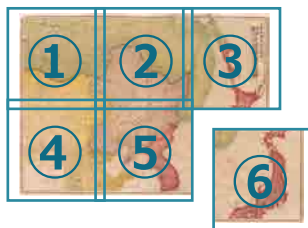
撮ると楕円形になるのはそのせいです。オルソスキャナは原画が浮いていてもガラスで抑えることなく、正しい円形が撮れます。

02 光源調整による テクスチャ再現



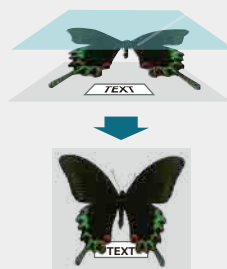
オルソスキャナは、光源の角度・距離・光量を変えスキャンすることが可能です。一見平らな用紙も光源調整によって、テクスチャを強調できます。また、撮影が難しいとされる金箔のスキャンも均一な照明でありながら自由度の高い表現が可能です。

03 解像度 1000ppi まで A0 サイズ以上も対応



カメラによる分割撮影は、レンズ収差と照明ムラによる不整合を解消するために作品の『真正性』を損ねる課題がありました。オルソスキャナを使ったファインアートスキャンは『真正性』を損なわずに隣接画像をジグソーパズルがはまるように接合します。

04 ピント位置を変えても 倍率変動なし



高解像度になるにつれ、ピント範囲（被写界深度）は狭くなります。オルソスキャナは作品との距離を1mm単位で変えながらレイヤースキャンが可能です。更に、ピント位置を変えても倍率変動が生じないため、深度合成により画像を重ね合わせて全てにピントのあった画像を生成できます。

沿革

1999 アイメジャー有限公司設立（2011年にアイメジャー株式会社に社名変更）

- ・ 赤外線イメージスキャナ、紫外線蛍光イメージスキャナ、
- ・ オルソスキャナ等、特殊イメージスキャナの開発・発売

2016 オルソスキャナのスキニングサービスを開始

2021 サービス名を FINE ART SCAN（ファインアートスキャン）に改名
DAPCON 2021 デジタルアーカイブ産業賞技術賞受賞

2024 高精細ジークレー印刷 オルソアートプリントを開始

実績

東京大学史料編纂所 国宝 正保薩摩国絵図 スキャン撮影

長野県立美術館 東山魁夷 画「白馬の森」を含む所蔵コレクション高精細スキャン撮影

戦没画学生慰霊美術館 無言館 所蔵コレクション数十点 スキャン撮影と複製 等

